高田川新聞

2017年12月26日
発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲　一月場所
平成30年 1月14日より
15日間
於　両国・国技館

竜電　ついに幕内昇進

竜電、運命の九州場所

平成二十九年は、稀勢の里の初優勝に始まり、十九年ぶりの日本人横綱誕生で四横綱時代に突入。高安の大関昇進や小兵力士の活躍などもあり、角界は大いに盛り上がったが、中盤からは相次ぐ横綱の休場。ついには暴力事件で横綱・日馬富士の引退と波瀾の一年となった。そんな中、高田川部屋勢は、今年最後となる九州場所で八名が勝ち越し、中でも十両二枚目の竜電が四場所連続の勝ち越しを決めて、ついに念願の幕内の切符を手に入れた。また、湘南乃海や安芸ノ花も連続勝ち越しを延ばし、三年ぶりとなる新弟子も入門。明るい話題で締めくくった。

十三日目、青狼を下し勝ち越しを決めた竜電

中日、大栄翔を送り出した輝

竜電にとって九州場所は十両昇進を果たした場所でもあり、大怪我をして辛酸をなめた場所でもある。しかし、四年に渡るひたむきな努力の末、昨年再び同じ九州の地で十両に返り咲いた。それから一年。今度は四場所連続勝ち越しで、ついに幕内昇進を決め、更に嬉しい思い出を上書きした。

四日目、竜電は初の幕内の土俵。懸賞が八本もかかった取組で琴勇輝に粘り勝つ。翌五日目も誉富士の繰り出す叩きに耐え続け、三勝目。実力のある姿を見せつけた。一進一退の星で五勝五敗で迎えた十一日目から佐田の海、琴恵光を破り、勝ち越しに大手。十三日目にこれまであまり分のよくなかった青狼に競り勝って三連勝。見事四場所連続の勝ち越しで幕内昇進を決めた。最後の二番、大奄美、山口にはいまだに勝ち星を挙げられない。その悔しさは初場所での取組でぶつけてほしい。

輝は部屋最高位を死守

輝は今年初の白星発進。実は幕内十場所で初戦白星は初めてで、十両を含めても一年半ぶりだった。気持ち的にも少し楽になったのか、十日目を終えて六勝四敗と勝ち星が二つ先行。しかし、そこからがよくない。隠岐の海、正代、千代翔馬、栃ノ心の終盤の大事なところで四連敗。三場所連続の負け越しとなった。この四人には、通算で四勝十四敗と明らかに分が悪い。組み合わせの妙と言ってしまえばそれまでだが、苦手を作ってしまうとこれから上位を狙っていく星取りに響く。逆に貴景勝など得意な相手には圧倒的な強さを持っているのも事実で、星を稼げていない力士、特に大型力士をどう料理していくかが今後の課題だろう。千秋楽、郷里の先輩・遠藤をあっけなく押し出して七勝目。最低限の負け越しで部屋の最高位は死守した。竜電の幕内昇進が輝のカンフル剤になることに期待する。

幕下十五枚目以内に三力士

五月場所より改名した安芸ノ花。その前の大阪場所から五場所連続の勝ち越しを続けている。変わったのは名前だけではない。引いたり叩いたりすることなく、しっかりと前に出て、豪快な投げを打つ。幕内経験豊富な天鎧鵬や富士東さえ、得意の右上手投げの餌食となった。

湘南乃海はあまり大勝したことがなかったことは以前に書いたが、ここ三場所、六勝、六勝、五勝。高い番付の中で大勝するところに湘南乃海の気持ちの強さを感じる。いよいよ覚醒した大器は勢いに乗り、勝ち越し後の十二日目、三役経験者の常幸龍と対戦。若々しい動きのある相撲で、輝ですら一勝しかしていない相手に粘り勝った。最後の朝弁慶戦には敗れたものの、初の幕下上位五番最後の土俵にも立った。入門から三年。十代で関取になることももはや夢ではない。

次の十両候補としてこの二年ずっと名前の挙がっていた白鷹山も勝ち越したとはいえ、うかうかしてはいられない。全勝すれば即十両昇進となる幕下十五枚目以内に、白鷹山、湘南乃海、安芸ノ花の三力士。同部屋内の競争が火花を散らし、それが吉報につながることを誰もが望んでいる。

幕内力士三名を筆頭に、全体としてもレベルアップが著しい高田川部屋。平成三十年も稽古に精進し、更なる飛躍を願う。

共に幕内力士となった輝と竜電

＜お知らせ＞
高田川部屋監修「特製やみつき唐揚＆とり飯」498円（税抜）本州・四国のイオン・イオンスタイル各店食品売場で1/10(水)-1/31(水)　販売予定。ぜひご賞味下さい。（一部お取り扱いのない店舗がございます）

幕内	輝	先場所　7勝8敗	○●○○●●○○●○●●●○	この一年、確実に力はついている自信はあるが、土俵で真価を発揮できるよう、もっともっと自分の強い形を突き詰めていきたい。その為の稽古を積み重ねるのみ。
〃	竜電	先場所　8勝7敗	○●●○○●●○○●○○●●●	攻める相撲はよかったが、自分の弱い面が出ると負けた。攻めの速さが出ている時は安定しているので立ち合いの鋭さを磨き、新入幕で三賞取れるよう暴れたい。
幕下	白鷹山	先場所　4勝3敗	●●○○○●○	今年最後の相撲を勝ち越しで締めくくれて良かった。来年こそは飛躍の年となる様、自身に磨きをかけていく。
〃	湘南乃海	先場所　5勝2敗	○○○●○○●	体は動けていたが、立ち合いがまだまだ。威力を増し、相撲を磨いて十代で十両に上がれるよう頑張りたい。
〃	安芸ノ花	先場所　4勝3敗	○●○○●○●	勝ち越せたが、番付では去年より下。もっと自分の相撲をみつめ直して早く関取二人に追いつくよう頑張りたい。
〃	安芸乃山	先場所　3勝4敗	○●●●●○○	悪いところが多く出てしまった場所だった。大勝と自己最高位更新を目標に十両を狙える位置に上がりたい。
三段目	暁	先場所　4勝3敗	○○●○○●●	勝ち越せたがもう一勝したかった。少しずつ力がついてきた実感があるので常に気持ちを高めて幕下を狙いたい。
〃	大野城	先場所　5勝2敗	●○●○○○○	土俵際、腰を下ろして落ち着いた相撲で五勝できた。前に出る相撲を磨いて一場所でも早く幕下復帰したい。
〃	恵比寿丸	先場所　5勝2敗	○○●○○○●	九州場所では立ち合いから前に出る相撲が多くできた。初場所でも、もっと前に出る相撲で幕下へ上がりたい。
〃	勝武士	先場所　2勝5敗	●●○●○●●	目の前の星を気にして一年最後の場所で負け越してしまった。気持ちから勝てるよう必死に稽古に取り組むのみ。
〃	大雷童	先場所　3勝4敗	●○●○○○●	怪我の影響でまだ十分な攻めができなかった。体を万全にして三段目最年長優勝するよう頑張りたい。
〃	大乗	先場所　4勝3敗	●○○●○○●	地元で勝ち越せたが納得のいく相撲が少なかった。まずは幕下へ戻り、上り調子のままその上を目指したい。
〃	須磨ノ海	先場所　3勝4敗	○○●●●○●	九州場所では一歩及ばず悔しい思いをした。安定感のある相撲で着々と番付を上げていきたい。
〃	剛力山	先場所　1勝6敗	○●●●●●●	体調を整えられず攻めきれなかった。しっかり体のケアをして、攻める気持ちを前に前に出していきたい。
序二段	前乃富士	先場所　1勝6敗	●○●●●●●	先場所は中々思うように相撲が取れなかった。今場所はどんな時でも慌てずに自分の相撲を取れるようにしたい。
〃	前大将	先場所　3勝4敗	●●○●○●○	怪我を理由に前に出れなかった。気持ちの弱さを克服し、自分の相撲を再確認、改善して上を目指したい。
〃	櫻	先場所　2勝5敗	●●●●●○○	連敗、特に大負けをしないようにしっかり稽古をして、早く三段目に上がれるよう頑張りたい。
序ノ口	天恵	先場所　前相撲	●●●●●	前相撲で全敗してしまったが、稽古に励み勝てるようになりたい。初場所ではまず一勝したい。

※表記の番附は正式発表前の予想

＜新弟子紹介＞　天恵　てんえい

湘南乃海以来、三年ぶりに新弟子が入門した。現在、大阪の高校在学中の面清（おもてきよし）。
相撲経験はなく、スポーツはバスケットボールをやっていた。四股名も天恵（てんえい）と決まり、新弟子検査直後の九州場所の前相撲で初土俵を踏んだ。中学横綱、相撲有名校ら相撲経験者の同期たちが居並ぶ中、五戦全敗の船出となったが、臆することなく前へ前へと出ようとする姿勢はこれからの可能性を感じさせてくれた。
「経験者の人達はすごい相撲をしていた。みんなのように体を徐々に大きくして、ひたむきに稽古に励んで勝てるようになりたい」。中日には竜電の化粧まわしをつけての新序出世披露。初場所では、序ノ口力士として国技館の土俵に立つ。
皆様、応援よろしくお願いいたします。
本名：面　清（平成11年10月11日生）
身長：176cm、体重：102kg、東大阪市出身。

三役行司　式守勘太夫の目

夢の幕内昇進にみる、大事な勝負時に間髪を入れずかける師匠の言葉とは本当に有難いものだ。竜電関は、気が乗っている時は「もう負けないのでは」と思われる完璧な攻めができるが、苦手な相手やプレッシャーがかかった時は相撲がバラバラになる。初日から一勝一敗で迎えた三日目。苦手な明生に成すすべもなく一方的に敗れて帰ってきた夜、師匠に仕切りの態度を叱られた。本人は気を落ち着かせる為の最良の仕切りと信じていたものを「根性を顔や態度に出せ」と突然師匠に突き付けられた。そこで出した答えは、顎を引くこと。人生を歩む上ではスポーツ以外でも一番大切な姿勢である。するとすぐに成果が表れた。しかし、五勝五敗となった時、師匠は根性指導から打って変わって「八番でいいから楽に行け」と。そこから三連勝二連敗できっちりと八勝に収まった。そこは反骨精神で九勝、十勝としてほしかったが、なにはともあれ幕内昇進と相成った。

高田川親方の喝！

一時は再起不能とまで言われた竜電がまた一つ、夢であった幕内昇進。大したものだ。だが、気分によって連勝連敗。もっと立ち合いを厳しく速く、スピード相撲を磨きこめば、幕内と言わず一気に三役まで駆け上がれる物は持っている。輝は、もっと剛が強い相撲、重いどっしりとした力をつけていかなければいけない。二人とも天才ではない。努力して自分でもっと自信を持って取れる相撲を取ってもらいたい。ゆっくりでよいので本物の力をつけていけ。
勝負度胸のある湘南乃海が一気に力をつけ、もたもたしていた幕下連中に火が点いた。刺激し合い、稽古に精進して全員に飛躍してもらいたい。

＜ご案内＞
高田川部屋　千秋楽祝賀会
並びに　竜電　幕内昇進祝賀会
平成30年1月28日（日）午後6時30分　開宴
※会場は、ホテルニューオータニ東京にて　（会費制）
各お問い合わせ・お申込み　行司　式守　勘太夫　まで
電話　090-3215-6524